

方向性	施策	具体的取組	成果	課題																		
方向性1 小・中学校 段階に おける 特別支援 教育の充実	(1) 通常の学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の指導の充実	①通常の学級における個別指導計画と通級による指導の個別指導計画等の共有化 ②「特別支援教育の充実を目指した校内委員会ハンドブック(仮称)」の作成及び活用	○通常の学級における支援が必要な児童生徒の個別指導計画の作成率は、現行の市基本計画・教育プランの指標(目標値:小・中ともに90%)を、小学校は達成した。中学校は目標値には達していないが、計画策定時より上昇している。 (上段:小学校, 下段:中学校) <table border="1" data-bbox="1484 567 2285 745"> <thead> <tr> <th>目標値(R4年度)</th> <th>基準値(プラン策定時)</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%</td> <td>76.5%</td> <td>76.5%</td> <td>78.1%</td> <td>84.3%</td> <td>90.8%</td> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>53.7%</td> <td>53.7%</td> <td>57.4%</td> <td>65.8%</td> <td>62.8%</td> </tr> </tbody> </table> ○校内委員会ハンドブック, 知的障害学級ガイドライン, 校内通級教室ガイドラインをそれぞれ作成。 ○校内通級教室は, 小・中ともに全校に整備 ○言語障害通級指導学級については, 相談体制を整備	目標値(R4年度)	基準値(プラン策定時)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	90%	76.5%	76.5%	78.1%	84.3%	90.8%	90%	53.7%	53.7%	57.4%	65.8%	62.8%	○管理職のリーダーシップを基に, 学校全体の組織的な取り組みが必要 ○校内通級教室での指導と並行し, 在籍学級である通常の学級での特別支援教育の充実 ○在籍学級での指導, 校内通級教室の指導内容など, 管理職と全教職員の特別支援教育のシステムの理解 ○調布市在住の特別支援学校に在籍している児童生徒の教育の充実に向けた, 副籍交流の充実と特別支援学級に在籍する児童生徒の交流および共同学習の充実。 ○特別支援学級の設置について, 市全体を考慮した配置計画が必要 ○言語障害通級指導学級の入級希望者数増。相談・指導開始までに待機期間が発生。空き教室・設備に限界がある。
	目標値(R4年度)	基準値(プラン策定時)		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度															
	90%	76.5%		76.5%	78.1%	84.3%	90.8%															
	90%	53.7%		53.7%	57.4%	65.8%	62.8%															
	(2) 知的障害学級における指導の充実	①「調布市立学校知的障害学級ガイドライン(仮称)」の策定 ②知的障害学級の体制構築に向けての検討																				
(3) 校内通級教室における指導の充実	①小学校校内通級教室の整備 ②中学校校内通級教室の整備 ③「調布市立中学校校内通級教室ガイドライン(仮称)」の策定																					
(4) 言語障害通級指導学級, 難聴通級指導学級における指導の充実	①言語障害通級指導学級の体制構築に向けての検討																					
(5) 特別支援学校を含む, 調布市内すべての公立学校の児童・生徒に対する教育の充実	①副籍交流の推進																					

現行調布市特別支援教育推進計画の成果と課題について 【方向性2】

方向性	施策	具体的取組	成果	課題
<p>方向性2</p> <p>特別支援教育を推進する体制の整備・充実</p>	<p>(1) 教職員の専門性の向上</p>	<p>①特別支援教育コーディネーターの研修の充実</p> <p>②校内通級教室の教員を対象にした研修の充実</p> <p>③知的障害学級の教員を対象にした研修の充実</p>	<p>○専門性向上のため、校内通級教室教員・特別支援学級教員への研修会の実施や、研究会の支援を行った。</p> <p>○校内通級教室の入退級のフローチャートを作成し、全小・中学校への周知を図った。</p> <p>○就学後についても、指導主事・就学相談員により継続的な相談を実施。</p> <p>○国のGIGAスクール構想等により全児童・生徒へタブレットを配付。特別支援教育にかかるアプリを多数インストールし、ICT環境の整備を進めた。</p>	<p>○管理職・全ての教職員に向けた専門性向上のための研修の充実</p> <p>○校内通級教室、知的障害特別支援学級の入退級及び就学に向けた学校での組織的な取り組みの推進</p> <p>○保護者の希望を優先した就学先の選択の多様化への対応として、すべての学校・学級での特別支援教育の充実と専門性向上</p> <p>○ICT機器を利用した障害のある児童・生徒への支援の充実</p>
	<p>(2) 就学相談機能の整備・充実</p>	<p>①校内通級教室等における入退級システムの構築</p> <p>②継続的な支援体制の充実と学校との連携</p>		
	<p>(3) 児童・生徒の社会的自立を目指した支援の整備</p>	<p>①ICT環境の整備</p> <p>②交流及び共同学習の充実</p>		

現行調布市特別支援教育推進計画の成果と課題について 【方向性3】

方向性	施策	具体的取組	成果	課題
<p>方向性3</p> <p>保護者等、地域及び関係機関との連携の充実</p>	<p>(1) 保護者等や地域への特別支援教育の理解推進</p> <p>(2) 学校等及び関係機関との連携の充実</p>	<p>①特別支援教育をテーマにした調布市教育シンポジウムの開催</p> <p>②未就学児童の保護者等を対象にした校内通級教室，知的障害学級，言語障害及び難聴通級指導学級の説明会の実施</p> <p>①都立特別支援学校と知的障害学級との連携の充実</p> <p>②支援が必要な子どもに係る幼保小連携及び調布市子ども発達センター等との連携の充実</p> <p>③障害福祉課との連携の充実</p> <p>④放課後等デイサービスや学童・ユースフォーとの連携の充実</p>	<p>○教育シンポジウム・就学に関する説明会・特別支援教育に関する動画公開・校内通級教室の取組事例のホームページ公開等，多様な方法による周知に努めた。</p> <p>○子ども発達センター・保育課と共催で就学に関する説明会を実施した。</p> <p>○特別支援学校と連携し，若手教員・特別支援学級教員の研修会や個別ケースの相談を実施した。</p> <p>○調布特別支援学校・障害福祉課・放課後等デイサービス事業者との連携方法について検討を重ねた。</p>	<p>○保護者・地域の人に対し，児童・生徒の将来を見通した情報の提供や，特別支援教育の理解・啓発のための情報提供等，内容の充実を図る必要がある。</p> <p>○子どもたちの就学前から卒業後までの切れ目ない支援の充実に向けた関係機関との連携</p> <p>○都立特別支援学校のセンター的機能の活用等一層の連携</p> <p>○障害福祉課との一層の連携推進による，医療的ケア児への対応，放課後等デイサービスとの連携の充実</p>